

進路だより

令和4年10月24日発行

岩手県立釜石祥雲支援学校

進路指導部

高等部後期校内・現場実習



9月14日(水)～9月30日(金)までの平日10日間、後期校内・現場実習が行われました。

1年生は新校舎の清掃や窓ふき、プール清掃、畑の除草など新たな作業にも取り組みました。体力や根気のいる作業でしたが自ら動き、協力しあいながら働くために必要な基礎的な力を身に付けることができました。

2, 3年生は近隣の企業や事業所で行い、特に3年生は卒業後の進路決定へ向けて大事な実習となりました。連休等で不規則な日程でしたが欠席もほぼなく頑張り通し、自分に合った仕事は何か、課題は何かを知ることができたようです。各企業、各事業所、ご家庭の皆様のご理解とご協力ありがとうございました。

校内実習



釜石球技場環境整備 (松ぼっくり拾い、ベンチ清掃)



すいひ



窓ガラス清掃



畑の除草



廊下清掃



プール清掃



実習報告会

現場実習



まごころ就労支援センター釜石



釜石市福祉作業所



わらび学園



夢工房カトレア



つくし共同作業所



かまいしワーク・ステーション



エフピー



フジ電子工業

都合により掲載できませんでしたが「まりん」、「佐々総業」、「SMC」(随時実習)でも実習させていただきました。



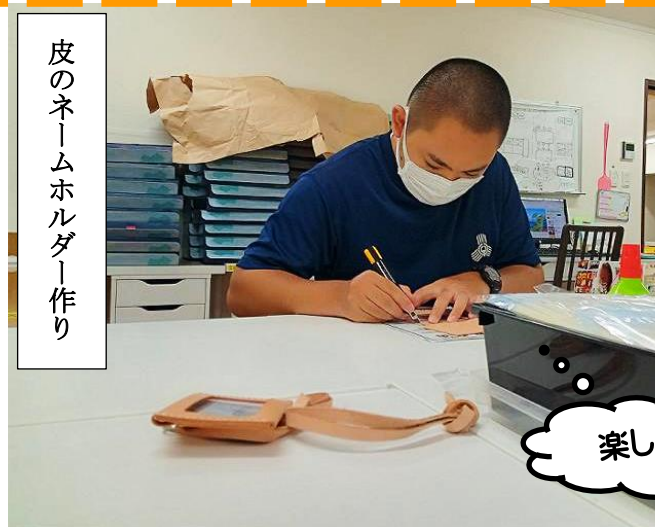
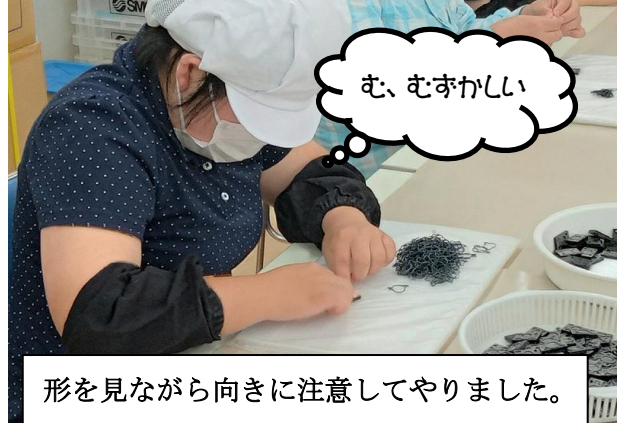
就労アセスメント

就労移行支援事業所(かまいしワーク・ステーション、まごころ就労支援センター釜石)で、アセスメント実習を行うことで、就労面の情報(作業能力、

就労意欲、集中力等)を把握していただきます。この評価は、本人、保護者、支援者等に情報共有され、進路希望の決定の参考となり、本人が就労面における目標や課題設定をする際に役立ちます。期間は、5日間。釜石祥雲支援学校では、夏季休業中に行っています。今年度も、高等部3年生7名が実施、その様子を写真でお知らせします。



かまいしワークステーション



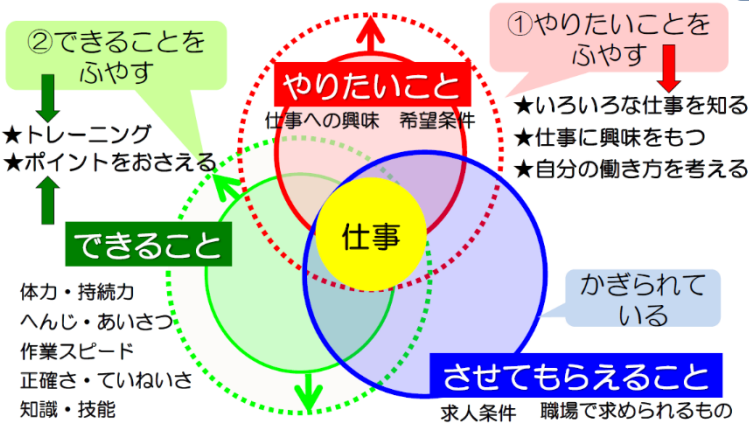
まごころ就労支援センター釜石

特別支援学校就労セミナー

はたらく準備にとりかかろう！

10月5日(水)岩手労働局と岩手障害者職業センターの方を講師にお招きし、特別支援学校就労セミナーが行われました。岩手県の障害者雇用の現状や、就労に向けて準備してほしいことなどについてお話しいただきました。高等部生徒と中学部・高等部の保護者が参加し、就労に向けて理解を深めました。

就職の準備をするとは



就職に向けて、今からできることってある？

- ① やりたいことをふやす
- ② できることをふやす

必ずしも希望する職種の求人があるとは限らないそうです。また、希望する条件と求人がマッチングするには時間がかかるケースが多く、早期からやりたいこと・できることを広げてほしいとの話がありました。

普段の生活の中でいろいろな仕事に関心をもつことが、自分に合った仕事を探すことにつながるようです。

大切なのは…
作業能力 < **勤務態度**

企業はどんな障がい者を採用したいのか？

- ① 作業意欲のある人
- ② 身辺処理が自分で出来る人
- ③ 作業の持続性がある人
- ④ 会社の規則が守れる人
- ⑤ 他の社員と仲良くできる人
- ⑥ あいさつや返事がしっかりできる人
- ⑦ 危険に対して気をつけられる人

企業からよく挙げられる条件で特に多いのは、「あいさつや返事がしっかりできる人」だそうです。挨拶や返事は、すぐに身につくものではありません。学校や家庭での生活の中で、習慣化することが大切です。

基本のマナー

● 休まない、遅刻しない
(遅刻・欠勤のときは、会社に連絡する)

● 時間をまもる

● 規則正しい生活リズム

● 身だしなみ



家庭では何をしたらいいの？

就職に向けて家庭で準備できること①

- ▶生活習慣の確立
 - ・自分でできることは自分で！
 - ・規則正しい生活リズム
 - ・清潔な身なり、身だしなみ
- ▶挨拶、返事
 - ・家庭、学校、施設の中で！（ほめながら習慣化）
- ▶日常生活能力
 - ・家事の参加、役割を持たせる（掃除、洗濯、買い物、係）
- ▶社会生活能力
 - ・交通機関、金銭管理、さまざまな人達とのふれあい
 - “できること”を経験で増やす

就職に向けて家庭で準備できること②

- ▶自分のことを知る
 - ・得意なこと、苦手なこと、まわりの人に協力してほしいこと
- ▶働く目的の整理（意欲の喚起）
 - ・仕事について家族で話し合う（例：なぜ家族は働いてるのか）
 - ・成功体験が大事
 - ・手伝いと報酬
- ▶その他、仕事に関する情報の提供
 - ・仕事を知る（買い物やテレビなど）
 - 具体的にわかること

↑
家族が客観的視点を持つことも重要!!
自分と一緒に働くイメージしたら…

岩手県における R3年度の障がい者雇用実雇用者率は2.37%と、全国平均(2.20%)より高く、過去最高を記録しています。しかし、職場に定着して長く働くことが難しいケースが多いそうです。

安定した職業生活を送るためには、家庭の協力がとても大切となります。特に、家族の方の協力が必要となってくるのは以下の事柄です。

- ①基本的な生活リズムづくり
- ②家庭内での、仕事につながる経験づくり(家事等)
- ③福祉・医療等の機関の利用にかかるサポート
- ④本人、支援機関等の複数からの情報を踏まえ、現状を客観的に把握する
→支援機関の活用



就職はゴールではなく、スタートです。就職に向けて早期から準備すること、そして継続した支援が大切です。



お知らせ

先日お配りした**進路希望調査(対象:小学部1年生～高等部3年生)**の提出〆切は**10月28日(金)**です。まだの方は、提出をお願いいたします。

